

教えて！
教育長さん

もっと！ESD！！

～子どもたちの未来のために

「持続可能な社会」を～ 27



新月中旬学校



生徒数 143人
学級数 8学級

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ESDに取り組む各学校の紹介をします。今回は新月中旬学校です。

新月中旬学校では、総合的な学習の時間に地域をベースとして、全体テーマを「生き方を考える学習」とし、各学年におけるテーマのもと他者や地域社会、自然との関わりの中から課題を設定して、主体的、系統的に調査活動や体験活動、話し合い活動を行っています。

1学年

「私たちの社会にはどんな良さや課題があるのだろうか」



1年生では、地域研修として魚市場見学を行い、また地域の方々を講師に招き講話をしていただきながら、地域の良さや課題について考えました。講師の方々からのお話から、気仙沼市の観光や海について関心を持った生徒が多く、観光と人口減少、水産物の水揚げ量や海洋プラスチックの問題などについて調べ、自分事と捉えながら課題解決を図りました。



2学年

「社会の中でどんな生き方や仕事をした人たちがいるのだろうか」



2年生では、職業にスポットを当て、ライフプラン教室や職業講話、職場体験学習を行い、自分の将来や未来について考えました。ライフプラン教室では、ライフプランナーを講師に招き、大人になった自分を想像しながら、ライフプランを考えました。自分のライフプランを意識した職業を選択し、職場体験学習で学んだことを踏まえながら、志を高く持つことができました。



3学年

「私たちは地域社会の中でどう生きればいいのか」



3年生では、地域研修としてリアス・アーク美術館と東日本大震災遺構・伝承館を見学しました。美術館に展示してある震災遺構の展示物の見学と伝承館での体験は防災についての知識を高めました。他地域にも目を向けるため、修学旅行で関東圏を見学し、日本の中央と気仙沼市との防災に関する意識の違いを体感し、改めて自分たちの地域の防災意識の高さについて感じることができました。また、フィールドワークを行い、身近な地域の課題について、改善策や対策まで考えを深め、自分の今後の生き方にフィードバックすることができました。



全校での取り組み



「生き方を考える学習」をテーマにした活動の他に、「サークルタイム」と称した話し合い活動を行っています。全学年を縦割りに分け、社会や地域に即した題材を設定し話し合うことで、自分と他者の考えを交えながら新たな視点に気づき、多様な考えに触れ、学校生活や実生活に生かしています。